



2011年 第6回

## タイトル: 体系・能力・アイデンティティ

### 一総合活動型日本語教育の成立と変容

話題提供者: 細川 英雄 氏(早稲田大学大学院日本語教育研究科)

日時: 2011年7月29日(金)17:00~19:00

場所: 早稲田大学 早稲田キャンパス 22号館 8階会議室

私が総合活動型日本語教育を実際のカリキュラム上で立ち上げたのは1998年のことである。

日本語教育そのものに本格的にかかわるようになったのは1986年からなので、それまでにおよそ12年経過している。この間、私に起こったことは何か。また、98年の立ち上げから、現在まですでに13年がたち、活動そのものの考え方もかなり変化してきている。

ここでは、活動型の成立に至る12年間を振り返り、そのうえで、98年以後、現在に至るまでの13年間の私自身の変容について考えてみたい。

ここで見てきたことは、体系の学習／教育という意識から、能力育成という立場が生まれたこと、さらに、個人の能力から発展して環境設定という視野がひらけ、そしてアイデンティティという観点が発見されたことだ。

ここに至るまでに、どのような思想的変遷があったのか。また、最終的に、ことばの学習／教育はアイデンティティの捉え方とどのようにかわるのか。

東日本大震災の年、自分の25年の活動実践を改めて振り返る。

主催 言語文化教育研究会 <http://www.gbki.org/>

代表・細川英雄 (早稲田大学大学院日本語教育研究科)



多くみなさまのご参加を心よりお待ちしております。

来聴歓迎、参加無料、事前登録不要

\*この研究会は、科学研究補助金・基盤研究(C)「アイデンティティ形成に関する言語教育とその教師養成・研修プログラムの実践的研究」(課題番号: 22520540 研究代表者: 細川英雄)による。